

児童生徒の皆さんも、先生方も、大きな問題や事故もなく、笑顔で再会でき、何よりの喜びです。

2023年、3学期がスタートします。当たり前のように、当たり前のことを当たり前でスタートできることがみなさんのすばらしさです。

「一日の計は朝にあり 一年の計は春にあり 一生の計は少壮の時にあり」

これは、江戸時代の儒学者である安井息軒そっけんが「三計の教え」として説いた言葉です。

「一日の計は朝にあり」は、一日の目安、見当は朝で決まる。

「一年の計は春にあり」は、一年の目安、見当は新春で決まる。

「一生の計は少壮の時にあり」は、一生の目安、見当は少壮の時で決まる。

「少壮の時」とは、「若くて意気盛んな時」、ちょうど児童生徒の皆さんぐらいの時の過ごし方でこれからの目安、見当が決まると言っているわけです。

早寝をすることで早起きができ、早起きすることで朝ご飯をしっかりと食べることができ、朝ごはんをしっかりと食べることで元気よく学校生活を送ることができるようになります。

新年のスタートにあたって、目標、計画をしっかりと立て、覚悟を決めることで、今年の実績とその成果が大きく変わってきます。

小学校、中学校のこの時期の経験、それから学んだ知性、育まれた感性はその人の財産となり、ずっと先まであなた方一人一人の礎となります。

「三計の教え」とは何事もはじめが大切であるという考えをもとに「今日という日は二度と戻らない。一日一日を、その時その時を大切に、できる限りのことを一生懸命にやさい。」ということをお伝えしています。

2023年。失敗を恐れず、何事にも挑戦する皆さんであってほしいと思います。それは、フロンティアスピリッツ、拓魂に通じるものです。

この3学期は、直接、次の学年、次の学校につながっていきます。

1年間のまとめとして、

◎心も体もいつも健康でいる「元気」 ◎何事にも積極的に取り組む「やる気」

◎何事にも一生懸命に取り組む「本気」 ◎あきらめず、粘り強く取り組む「根気」

が、自分自身の心の中に、しっかりと根を張り、成長したことを実感できる修了式、卒業式が迎えられるよう、何事にも手を抜かず、頑張ってもらいたいと思います。

「世の中の常識」、「当たり前のルール」をしっかりと守り、そして「思いやりの心」を大切に、当たり前のことを当たり前で毎日積み重ねることができる学校生活を送ってください。